

平成18年8月8日

各 位

会社名 タカセ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 眞田 洋
 (JASDAQ コード番号: 9087)
 問合せ先 専務取締役総合改革本部長
 金子 重男
 (TEL. 03-3571-9497)

平成19年3月期中間および通期業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年5月23日の決算発表時に公表した平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の中間および通期の業績予想(連結・個別)を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成19年3月期中間業績予想の修正

①中間連結業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位:百万円)

	営業収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	6,800	220	80
今回修正予想(B)	6,800	110	10
増減額(B-A)	—	△110	△70
増減率(%)	—%	△50.0%	△87.5%
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期中間)	6,474	271	155

②中間個別業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位:百万円)

	営業収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	6,400	170	50
今回修正予想(B)	6,400	90	0
増減額(B-A)	—	△80	△50
増減率(%)	—%	△47.1%	△100.0%
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期中間)	6,116	243	138

2. 平成 19 年 3 月期通期業績予想の修正

①通期連結業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	14,400	550	270
今回修正予想（B）	14,400	440	200
増減額（B－A）	－	△110	△70
増減率（％）	－％	△20.0％	△25.9％
（ご参考） 前期実績（平成 18 年 3 月期通期）	13,569	597	337

②通期個別業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	13,500	440	200
今回修正予想（B）	13,500	360	150
増減額（B－A）	－	△80	△50
増減率（％）	－％	△18.2％	△25.0％
（ご参考） 前期実績（平成 18 年 3 月期通期）	12,653	526	293

3. 修正の主な理由

（1）中間個別決算の業績予想

① 経常利益につきましては、本日付で公表しております第 1 四半期業績において、

- A. 4 月より新しく賃借を開始した川崎市大型倉庫について、現時点で空スペースが生じており、また、一部当面对応で導入した保管型スポット顧客に関し予定した採算を得るに至っておらず、さらに、既存顧客の増坪に備えた一部顧客の新倉庫への移動のための対応により非効率が発生した、等の要因により採算が確保されていないこと、
- B. 前年同期間においては、音楽映像分野で作業および配送面で効率の高いヒット作に恵まれましたが、本年は DVD、CD ともヒット作に乏しく前年対比で利益寄与が大きく低下したこと、
- C. 個別顧客業務で収受料金単価の低下を余儀なくされたこと、
などのマイナス要因がありましたことから、前回予想比 47.1％減の 90 百万円となる見込みであります。

② 中間純利益につきましては、経常利益の減少にともなって、前回予想比 50 百万円減の損益トントンとなる見込みであります。

（2）中間連結決算の業績予想

中間連結決算の業績予想は、中間個別業績のマイナス要因のほか、(A) 陸上運送子会社における燃料費の高騰、(B) 作業統括子会社における取扱数量の減少による作業効率低下等の利益圧迫要因によって、経常利益において 50.0％減の 1 億 10 百万円、中間純利益において 87.5％減の 10 百万円となる見込みであります。

（3）その他

通期の業績予想につきましては、個別および連結業績予想とも、中間期のマイナス要因によって、上記のとおり修正いたしております。

(ご留意事項)

上記の業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提にもとづいたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上